



吉子川

令和6年5月2日(木)
学校だより NO.5
中島村立吉子川小学校
発行責任者 校長 木戸 美智子

【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

今月のいきいき中島っ子 学びの十か条 (5月)
大きな声と笑顔であいさつ
笑顔ではじまる今日の一日

◇ 連休中の注意点 ◇

4月のGW前半明け、子ども達は元気に登校し、「〇〇公園に行ってきました」「お庭でBBQをしました」など、家族との楽しい連休の過ごし方を、いつも以上の笑顔で話をしてくれました。家族とのふれあいが一番の思い出になっているようです。

5月のGW後半も、事故やけが、病気の無い楽しく充実した休みを過ごして欲しいと思います。

◇ 自分の命は自分で守る！その力を育てる！ ◇

近頃、登下校時の不審者情報が学校に届きます。学校では、朝の会や帰りの会で各学級ごとに、子どもたちの年齢に応じた指導をしています。また、放送で、全校一斉指導も行っています。何度も繰り返し指導しています。それは、かけがえのない子どもの命を守るためです。ご家庭におかれましても、具体的なシチュエーションを想定しながら、個に応じた指導をしていただければと思います。学校で行っている指導内容等について、ご紹介します。

1. 標語「いかのおすし」

裏面に印刷いたしました。ご覧ください。

2. 不審者を見分ける

子どもを狙う不審者は、知り合いのふり、いい人のふり、困っているふりをして子どもの不安な気持ち、興味、親切心、欲求をあおります。

「知らない人」には警戒するよう指導してください。併せて、自分の周囲1.5m(子どもが両手を広げたエリア)に、「知らない人」が入る状況はつくらないことを教えてあげてください。

3. 逃げる勇気をもつ

体力的に弱い子どもが、体格の勝る者や凶器を持つ者に勝てる見込みはありません。子どもには「親切にしたい」という気持ちがあり、知らない人に声をかけられた際に、無視をしたり、「知りません」ということは失礼にあたる子もいます。自分の判断で「不審者の可能性あり！」と感じたら、命を守るための行動として、逃げるのが大事であると話してあげてください。



◇ 「家に帰ってからは…」 「休日は…」 ◇

「危ない場所に行かない」「一人で行動しない」「一人で行動するときは周囲を警戒する」この3つが大事です。さらに、次の4点を守ることも大切です。

- ① 出かけるときは行き先を伝える
- ② 帰宅時間の約束を守る
- ③ 目立つところに名前を書かない
- ④ あいさつをする

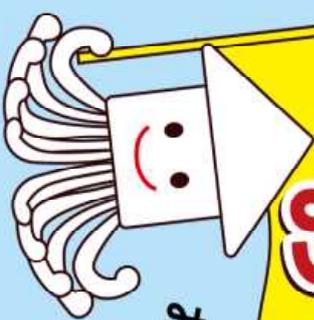
普段から近所の人とあいさつをし、顔見知りの関係を築くといいですね。地域連携が図られることで、万が一の際に助けただけたり、情報をいただけたりするものです。



よい子のかくそく

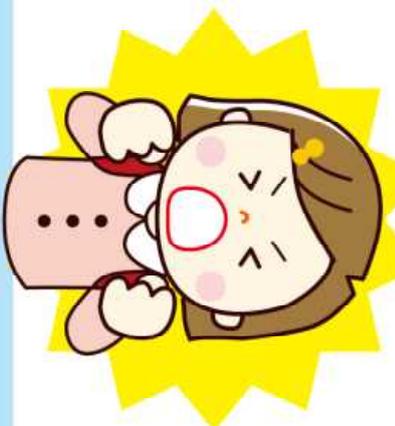
イカのおすし

おぼえてね!



お

おおきな声
でしゃべる!



イカ

知らない人について
イカない!



す

すぐ
にげる!



の

知らない人の車に
のらない!



し

家の人や先生に
しらせる!

